

第2回【女性がん患者のセルフイメージ構築へのサポート～乳がんを事例に～】

開催日/会場/協賛：2010年7月11日(日) / 学研ビル(東京・五反田) / 株式会社ジャンパール

講師：土井卓子先生(湘南記念病院 かまくら乳がん・甲状腺センター長 乳腺外科医)

山崎多賀子先生(美容ジャーナリスト、NPO法人キャンサーリボンズ理事)

田中登美先生(大阪府立大学看護学部講師 がん看護専門看護師、NPO法人キャンサーリボンズ委員)

講演「乳がん治療の最新事情」～術後ケアや副作用マネジメントを中心に～

講師：土井卓子先生

まず、エビデンスデータを提示しながら、乳がん治療の全体像を概観しました。その上で、乳房再建を含む治療選択や副作用ケアについて具体的な症例を示しながら解説し、看護師による心の支えの必要性と、患者さんが納得できる選択を行なうために看護師として担う役割などについても示唆されました。



事例紹介&レビュー セルフイメージの再構築

セルフイメージ再構築のために援助実践した事例紹介の後、情報提供から声かけまで具体的なサポート内容の確認をしながら、事例のポイントを整理しました。

[事例提供]

湘南記念病院 かまくら乳がん・甲状腺センター 看護師 森知美先生

[レビュアー]

田中登美先生

講演 美の効用「キレイは生きる力になる」 がん治療中のスキンケアと悩み別メイクアップ

講師：山崎多賀子先生

ご自身もがん体験者である山崎多賀子先生からは、抗がん剤による脱毛や顔色の変化と、それをカバーするお化粧がもたらす効果などについてお話がありました。また、講演の後半は、元気に見えるお化粧の具体的な方法を、実際にモデルさんの顔を半分だけをメイクして、左右比較により効果を見せていただきました。



企業プレゼンテーション

協賛社の株式会社ジャンパールより、術後など傷跡のケアにおいてバイオイル製品を使用した際のデータ紹介等がありました。